

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立東雲小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

ガイド学習について

・〈ガイド学習〉

児童がガイドをつとめ、自分たちで授業を進める「ガイド学習」に取り組んでいる。授業の大まかな流れが書かれた「ガイドシート」を基に、子どもたちで授業を進められるようにしている。困ったときは、ガイドを中心に話し合うなどして教師がいなくとも、自ら学習を進めようとする意欲が育まれている。

・〈情報の取り出し〉

「ガイド学習」では、わからない問題に出会った場合に、まず始めに教師に聞くのではなく、児童同士で話し合ったり、校内や教室に掲示されている様々な学習の手がかり(既習事項に関する物等)を参考にしながら自力解決するという形式をとっている。そのため、わからない問題があっても、自分たちで解決しようと取り組む姿勢が育まれている。



- ①めあて
「二つの円を比べてみよう」
- ②わたチェック (p114の四角3)
- ③見通し
●使える公式を出す
(前回までのあらすじを見て!)
- ④考える
●円周と面積でくらべて気づいたことをそれぞれ書いて!
- ⑤発表
- ⑥まとめ
- ⑦ふりかえり
- ⑧練習 (p115 えんぴつ1・p116えんぴつ2)

丁寧な学習計画の設定・チャレンジ問題について

・〈丁寧な学習計画の設定〉

国語科・算数科においては、意欲的に学習に取り組める単元のゴールを設定している。両科目とも「ガイド学習」で児童が自分たちで進めるため、単元の初めの1時間は教師が中心となって、目的・相手・ゴールに向かうためにはどのような活動が何時間必要なのかを細かく確認している。

・〈チャレンジ問題〉

算数科の時間では、チャレンジ問題の学習に取り組んでいる。この学習は、算数科の時間の単元の最後に行われ、①基礎的な問題に取り組む場所・②自分で問題を作成し、出会う場所等、いくつかの問題に取り組む場所を教室に配置し、子どもたちが自分の習熟度や興味に合わせて、自由に問題を選択して取り組むというものである。この学習形態により、児童の主体性が育まれている。

